

未評価 ゴマノハグサ科

エゾリトラノオ *Pseudolysimachion kiusianum* (Furumi) Yamazaki subsp. *miyabei* (Nakai et Honda) Yamazaki var. *miyabei*

- 【選定根拠】 確認されず現状不明である。
 【形態】 直立する茎は短毛があり50～90cm、広卵形の葉は対生、有柄。母種ツクシトラノオの葉は両面短毛、縁は鋭鋸歯だが本種は葉の表面無毛で、裏面に密に短毛が生え鋸歯もとがらない。
 【分布】 本州(東北地方)～北海道南部の山地草原に分布する。
 【県内の分布、生育状況】 田島町に記録があるが、その後確認されず現状不明である。
 【主要文献】
 日本の野生植物、及びフィールド版 草本・木本・平凡社・上野雄規編、1991。北本州産高等植物チェックリスト。東北植物研究会。原色日本植物図鑑(上)。及び木本篇(1)。保育社。福島県植物誌編さん委員会。1987。福島県植物誌。481pp。福島県植物誌編さん委員会。いわき。

未評価 ゴマノハグサ科

ヤマトラノオ *Pseudolysimachion rotundum* (Nakai) Yamazaki var. *subintegrum* (Nakai) Yamazaki

- 【選定根拠】 確認されず現状不明である。
 【形態】 茎は直立し40～90cm、短毛散生する。対生葉は広披針形、両面に短毛あり。長さ5～11cm、幅1～2.5cm、茎頂に花穂を出し多花をつける。2～3cmの花柄に短毛あり、花は青紫色で長さ5mmである。
 【分布】 本州(関東、中部、中国)、四国、九州、朝鮮、中国(東北部)に分布。林縁や草地に生える。
 【県内の分布、生育状況】 矢吹町に記録があるが、その後確認されず現状不明である。
 【主要文献】
 日本の野生植物、及びフィールド版 草本・木本・平凡社・上野雄規編、1991。北本州産高等植物チェックリスト。東北植物研究会。原色日本植物図鑑(上)。及び木本篇(1)。保育社。福島県植物誌編さん委員会。1987。福島県植物誌。481pp。福島県植物誌編さん委員会。いわき。

未評価 ゴマノハグサ科

エゾノカワジシャ *Veronica americana* (Rafin.) Schwein.

- 【選定根拠】 もともと自生していたものか、北方から人為的に移入されたものか不明である。
 【形態】 湿地性の植物。茎の下部が地をはって斜上し、草高20～40cm。葉は長楕円状披針形で、長さ3～6cm。7～8月、葉腋から枝を出し、皿状に広く開いた花を多数総状につける。花は青紫色で、径6～7mm。カワジシャに似るが、茎が斜上して葉に短い柄があり、果実は長さより幅の方がやや広い点が異なる。
 【分布】 北海道、千島、樺太、カムチャッカ、アラスカ、北アメリカに分布する。
 【県内の分布、生育状況】 川の縁などの湿地に生育する。本県では、金山町で確認されたものが、馬場(1983)によって初めて報告された。その個体群は今回の調査で1/10に減少していることが分かった。
 【主要文献】
 馬場 篤。1983。福島県新産植物と稀産植物の新産地2。フロラ福島2:7-8。

未評価 ゴマノハグサ科

ゴマノハグサ *Scrophularia buergeriana* Miq.

- 【選定根拠】 確認されず現状不明である。
 【形態】 根の一部が紡錘状に肥大する。直立する茎はし90～150cm、四角。葉は対生し1～2cmの柄あり。葉身は卵形、長さ6～8cm、幅3～4cm。茎頂に20～40cmの総状花序をつくり、黄緑色の花を密につける。
 【分布】 本州(関東南部、中部、中国地方)、九州、朝鮮、中国(北部、東北)に分布する。湿性湿原に生える。
 【県内の分布、生育状況】 郡山市安積町、白河市関山に記録があるが、その後確認されず現状不明である。
 【主要文献】
 日本の野生植物、及びフィールド版 草本・木本・平凡社・上野雄規編、1991。北本州産高等植物チェックリスト。東北植物研究会。原色日本植物図鑑(上)。及び木本篇(1)。保育社。福島県植物誌編さん委員会。1987。福島県植物誌。481pp。福島県植物誌編さん委員会。いわき。

未評価 ゴマノハグサ科

ヤマクワガタ *Veronica japonensis* Makino

- 【選定根拠】 確認されず現状不明である。
 【形態】 茎は分枝して地に伏し発根し広がり長さ10～20cm、密に軟毛が生える。葉は対生、長さ12～25mm、幅9～20mm、広卵形、両面に白毛が散生する。上部葉腋から花序が出て3～8個の淡紅白色の径8mmの皿形の花をつける。
 【分布】 関東地方北部、中部地方南部の亜高山帯に分布。針葉樹林やブナ林の中に生える。
 【県内の分布、生育状況】 吾妻山、尾瀬に記録があるが、その後確認されず現状不明である。
 【主要文献】
 日本の野生植物、及びフィールド版 草本・木本・平凡社・上野雄規編、1991。北本州産高等植物チェックリスト。東北植物研究会。原色日本植物図鑑(上)。及び木本篇(1)。保育社。福島県植物誌編さん委員会。1987。福島県植物誌。481pp。福島県植物誌編さん委員会。いわき。

未評価 トチカガミ科

マルミスブタ *Blyxa aubertii* L. C. Rich.

全国カテゴリー；絶滅危惧 類

- 【選定根拠】 確認されず現状不明である。
 【形態】 沈水～抽水性の水生植物。草高10～15cm、茎は極短く、葉は線形で長さ10～15cm、根生状。8～9月、がく筒を水面に伸ばし、繊細で小さな白色の花を開く。種子は紡錘形で表面に細かい突起があり、スプタに似ているが、両端に尾状突起がない点で異なる。
 【分布】 本州・四国・九州、東アジア、インド、マダガスカルに分布する。
 【県内の分布、生育状況】 池沼や水田などに生育する。本県ではかつて郡山市で確認されているが、その後確認されず現状不明である。
 【主要文献】
 福島県植物誌編さん委員会。1987。福島県植物誌。481pp。福島県植物誌編さん委員会。いわき。